

意見書案第 5 号

令和 3 年 3 月 1 8 日提出

松山市議会議員 小 崎 愛 子

田 淵 紀 子

梶 原 時 義

大 亀 泰 彦

池 本 俊 英

令和 3 年 3 月 19 日 原案可決

核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書について

核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書を次のとおり提出する。

記

核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書

令和 3 年 1 月 2 2 日、核兵器禁止条約が発効した。核兵器の使用や実験はもとより開発・製造・備蓄・移転や威嚇までも禁じ、核兵器を絶対悪として違法化された条約となっている。

しかしながら日本政府は、核保有国と非保有国との橋渡し役をとする一方で、核兵器禁止条約については現実的な核軍縮につながらないとして、一貫して反対の立場を取り続けている。唯一の戦争被爆国としての日本政府の責任は特別重要であり、今こそ地球上の核兵器廃絶に向け、国際間の調整役などの主導的役割を果たすべきである。そのため、政府が「核兵器禁止条約」に署名・批准することを強く願う。

よって、国に対し以下について要請する。

記

- 1 唯一の戦争被爆国として核兵器禁止条約を一日も早く署名・批准すること。

2 それまでの間は、オブザーバーとして締約国会議及び検討会議に参加すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先 衆 議 院 議 長

参 議 院 議 長

内 閣 総 理 大 臣

外 務 大 臣